




@IT > Linux Square > Linux Tips Index > Fedora Core 6を自動的にアップデートするには

Linux Tips	 <h2 style="text-align: center;">Fedora Core 6を自動的にアップデートするには</h2> <p style="text-align: right;">北浦訓行 2006/11/30</p>
------------	---

Fedora Core 6(FC6)以前のバージョンでは、yumをサービスとして起動しておけば最新版のパッケージを自動的にインストールすることができた([Fedora Core 1を自動的にアップデートするには](#)を参照)。しかし、FC6ではこの方法が使用できない。ここでは、FC6を自動的にアップデートする方法を紹介する。

FC6では、「yum-updatesd」というサービスが更新用パッケージの有無を確認している。もし、パッケージの更新がされていれば、その旨をデスクトップに表示する(注)。

注:実際に画面表示を行っているのは、「puplet」というプログラムである。

また、yum-updatesdにはパッケージの自動更新機能が備わっている。しかし、デフォルトのままだと更新パッケージの有無を通知する機能しか使えない。パッケージの自動更新を行うには、yum-updatesdの設定を変更する必要がある。

注:FC6のインストールで導入されるyum-updatesdの初期バージョン(yum-updatesd-3.0-6)では、自動更新機能が動作しない。この機能を使用するには、yum-updatesd-3.0.1-2.fc6以上にアップデートする必要がある。

以下のように、yum-updatesdの定義ファイル/etc/yum/yum-updatesd.confを修正すれば、アップデートに関する設定が変更できる。

```
[main]
# how often to check for new updates (in seconds)
run_interval = 3600 ←アップデートの有無を調べる間隔 (秒)
# how often to allow checking on request (in seconds)
updaterefresh = 600 ←リクエストによるチェックを許可する間隔 (秒)

# how to send notifications (valid: dbus, email, syslog)
emit_via = dbus ←通知先の設定 (dbusはpuplet経由、emailはメールによる通知、syslogはsyslogへ記録)

# automatically install updates
do_update = no ←アップデートの自動インストールを行う場合は「yes」
# automatically download updates
do_download = no ←アップデートの自動ダウンロードを行う場合は「yes」
# automatically download deps of updates
do_download_deps = no ←アップデートの依存性チェックを行う場合は「yes」
```

修正が完了したら、yum-updatesdかシステムのどちらかを再起動して設定を反映させる。

[インデックス](#) ●●● [Linux Tips Index](#)

Linux Square

スポンサーからのお知らせ

エンタープライズ&HPC分野でも真価を発揮!
圧倒的な演算性能と広大でリニアなメモリ空間
を提供する“JCS 64bit Solution”

- PR -

@IT Special

- PR -



最新のソリューション~次世代の技術まで
サン「仮想化」イベントレポート



「帳票ソリューションにSOAを」——
新しい技術への取り組みを続けるキヤノン



◆◆ インテル & HPによる特別対談 ◆◆
◆◆ 激動の今年一年を振り返る ◆◆



Itaniumベースサーバ×Windows Server
ミッションクリティカルシステムへ始動



中小規模のブレード市場を拡大、牽引
日本HPがブレード新製品を発表



◆◆ 仮想化を牽引するインテル & HP ◆◆



ソフトとハード両面で先進的な仮想化を実現



業務の大幅な効率化と開発コストの軽減を
可能にするキヤノンの帳票ソリューション



社員の力をフルに引き出す新購入方法
「エンタープライズ デスクトップ」とは?



ITIL対応の強化を応援します! 企業コンプライアンスをサポートするSystemwalker



進化し続けるITインフラに対応しながら、
既存業務アプリを使い続けるための選択とは



【専任のシステム管理者は必要なし】
最小限のコスト・人材で内部統制を実現!



「スパムとの戦いに決着をつける!」
月間100億通のメールを解析、スパム撃退

何を選べば正解なのか……にお答えします